

## 良かったこと②

### ■コロナ対策を議会として提言

新型コロナウイルス感染が広がり、医療体制のひっ迫が心配される事態となっています。年末の今も対策が後手に回っていますが、今年の春も大きな混乱がありました。法的根拠も科学的根拠もない、首相の学校に対する全国一斉の臨時休業要請(鏡野町も従ってしまいました)、アベノマスク…。

その頃、鏡野町はプレミアム付商品券発行のみを対策として打ち出してきました。私は次のような理由でこの補正予算に反対しました。「命を守るために医療現場で頑張っている人や、濃厚接触になる子育てに関わる人などに、鏡野町として具体的な施策を打った上で、プレミアム付商品券をとるのであれば理解できるが、町はまだ何もしていない。日常生活を維持するために頑張っている人たちに、目に見える形で施策を打つことを急ぐべきで、その後に経済の再生を考えるべきだ」と。

町の対策に危機感を覚えた私は、議会としての対策案を出すべきと提案しました。そして5月1日に議会から「新型コロナウイルス感染症対策に係る要望書」を提出することができ、町の対策にも反映されました。

議会としての提案をまとめることのできた貴重な経験となりました。

### □光吉 準 (ひとし) プロフィール

1956年(S31年)生まれ。芳野小学校、鏡野中学校、津山高校、岡山大学法文学部法学科卒。2011年、両親の介護のため帰郷。1995年より岡山市議・県議のスタッフ、「自治体議員政策情報センター」幹事などをつとめる。

2017年、鏡野町議会議員に当選。文教厚生常任委員会副委員長、議会運営委員会委員長、広報特別委員会委員長をつとめる。

2020年10月議員を辞職。

### □編集後記

10月の随時会議で、議員辞職が認められました。もちろんこれからも住みやすい鏡野町を作るために頑張っていきます。

よろしくお願いします。

### □連絡先

〒708-0335  
岡山県苫田郡鏡野町真加部 379  
T&F 0868-54-2345  
h-mitsuyoshi@wi.kualnet.jp  
<http://kagamino.org>



今年も白菜漬けました

# 光吉ひとし

No.5  
2020.12

## 鏡野町政レポート



## 新しい風を!

## 住みやすい町には人が集まる

### 生活の足、地域交通をまもる!



買い物や病院への足となる

デマンドタクシー(安価な乗合タクシー)の運行をします  
付き添いサポートの支え合いを支援します

### 心と体を育てる食育と農業推進!

学校給食の地産地消と有機化を進めます

都会と里山を繋いで、小さな農業をささえます

若者の就農を支えます

### 地産地消で、地域の経済をまわす!



地域で消費するもの(食やエネルギー)を地域で作ることで、  
人とモノ、お金の循環をよくしていきます

### 町のことは、みんなで決める!

鏡野町を誰にとっても住みやすくできるよう

町民の皆さんと情報を共有し、話し合える場を作ります

# 町議として町政を振り返る・新しい町政に生かしたい

## 残念だったこと

### ■給食の民間委託：子どもの食は行政の責任で

今年（2020年）の春から学校給食が民間委託されました。昨年の6月議会で、賛否が拮抗する中で決まってしまいました。私は次のような反対討論をしました。

☆ ★ ☆

1月末の学校給食共同調理場運営委員会で、口頭説明だけで民間委託の即決を求められ、これでは議会としての責任を果たせないと反対した。議会は自治体の最高意思決定機関であり、責任ある決定をすることができるよう、執行部はもっと多くの情報を議会に出してもらいたい。



民間委託は準備不足であり、もう少し時間をかけて調査すべきであった。また住民への説明はなされていない。決定してからではなく、決定に至る過程において住民との対話が必要だ。

民間委託のメリットとしてあげられたことは、直営のままでも出来ることであり、現状維持のための民間委託には反対する。

給食を町づくりの一つの核として位置付け、子ども子育てに熱心に取り組んでいる鏡野をアピールすべきだ。

未来をつくる主体としての子どもに、真っ先に予算が投入されてもいいと考えている。

### ■百条委員会：真相究明に至らず

鏡野町政に影を落とし続けてきた「社会福祉協議会の寄付金紛失事件」の時効を目前にして、議会は百条委員会を設置し調査に乗り出しました。しかし事件発覚から時間が経ちすぎていることもあり、残念ながら真相の究明には至りませんでした。

社協の損害を町の公費で賠償せず「個人の寄附」で補填したことの不適切さ、また「できる限り事態が広く知られることを避けながら処理する」姿勢がうかがわれ、役場内の不祥事に対処する姿勢として適切とは考えられないことなどを、百条委員会として指摘しました。

## これまで議会活動を通してこんなことを実現しました！

（もちろん私の議会質問だけで実現したものではありません。当事者、町民のみなさんの働きかけや、同僚の議員や職員のみなさんの動きがあって実現したものです）

- ・男女共同参画条例・計画を策定
- ・高齢ドライバーのための安全装置への補助制度の導入
- ・コロナで中止になった修学旅行の町内プラン実施
- ・浸水想定地の多目的公園（地震災害の一次避難所）に盛り土
- ・障がい者などへの配慮を伝えるヘルプマークの導入（写真右）など



## 良かったこと①

### ■議会広報「かしの木」の発行を実現

2019年9月から、かがみの議会だより「かしの木」の発行が始まりました。私は広報特別委員長として、できるだけ分かりやすく、町民の皆さんに議会の動きを伝えることを心がけてきました。以下は創刊号に載せた私のあいさつの要旨です。

☆ ★ ☆

「鏡野町議会基本条例」は前文で次のように述べます。「議会は…自治体事務の立案、決定、執行及び評価における論点及び争点を広く町民に明らかにする責務を有している。自由かつ達な討議を通して、これら論点及び争点を町民に公開しなければならない」と。

これまで残念ながら議会からの「発信力」は弱く、議会での議論や決定について、町民の皆さんに充分にお伝えすることができませんでした。今後はこの「議会だより」を通じて今まで以上に詳しくお伝えできるものと思います。

地方分権改革から早くも20年が経とうとしています。近年、「自治体消滅」が叫ばれるほどに人口減少・地方の衰退は深刻化しています。町民の皆さんとともに町の課題を共有し、未来を構想していかなばなりません。そのために「議会だより」を育てていきたいと考えます。よろしくお願ひします。

